

受検番号

総合問題 I 【1枚目】

- * 答えは、全て、解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。
- * 与えられたいくつかの事項のうちから答えを選ぶ場合は、記号で書きなさい。
- 注意 * 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- * 英語は、活字体または筆記体で書きなさい。
- * 問題用紙は4枚、解答用紙は2枚あります。

1 次の英文は、ヨシオ (Yoshio) さんが、「英語で日本を紹介してみよう」という課題が出された英語の授業で「民泊 (*minpaku*)」について調べ、外国人に読んでもらうために書いた原稿です。これを読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。

【ヨシオさんの原稿】

Have you ever heard of *minpaku*? *Minpaku* is “private lodging” and it means to stay with a family at their house during a trip. More and more people come to Japan and many people use *minpaku* in the countryside. *Minpaku* is closer to real Japanese life than hotels in big cities.

If you use *minpaku* in Japan, you will be able to experience Japanese life better and ①【 people / see / that / do / Japanese / things 】 every day. For example, you may be glad to see how a group of school children go to school in the morning. Japanese people have seen it so many times and do not think it is very interesting, but seeing this kind of scene can be new and even exciting to you.

Also, *minpaku* owners can help you. Some *minpaku* owners like traveling and have traveled abroad, so they know ②[]. They understand that you want to talk with people of the places you visit. They are happy to tell you about their town, and people staying at *minpaku* of such owners will be able to receive a lot of useful information. For example, if you have good luck, you may have a chance to take part in a traditional festival of the town and learn interesting histories of the festival from the owner. Maybe at other times, you will learn how to make Japanese food and enjoy eating it together. In this way, you can make a lot of friends.

A *minpaku* owner said, “③ When I see the smiles of the people who come to us, I feel very happy, so I am always trying to make () wonderful. I believe that the most important thing in *minpaku* is to think in their shoes.”

Why don't you come to Japan and have a good time at *minpaku*?

(注) private : 民間の lodging : 宿泊、宿泊場所 more and more : ますます多くの
 countryside : 田舎 closer : close (近い) の比較級 real : 本物の
 hotel(s) : ホテル owner(s) : 所有者、オーナー smile(s) : 笑顔
 in their shoes : その人の立場で

- 1 ①【 】内の語を、意味が通るように並べかえなさい。
- 2 ②[]に入れるのに最も適切な英語を次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア what country you should visit in your life
- イ what you should do to help *minpaku* owners
- ウ what language you should speak to make more friends
- エ what you want or need during your stay in the countryside

- 3 下線部③の()に入れるのに適切なものを次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア they stay
- イ their stay
- ウ they will stay
- エ their stay is

- 4 あなたが民泊のオーナーになったと仮定して、次の英文の[]に、適切な5語以上の英語を考えて書きなさい。ただし、【ヨシオさんの原稿】に示された内容と重ならないようにすること。

If I am a *minpaku* owner, I will [] because it will be a good experience for people visiting Japan.

- 5 本文の内容に合うものを次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア Even in big cities, *minpaku* is used by a lot of people who visit Japan.
- イ People who visit Japan will be happy with everything that they will see in Japan.
- ウ For people who visit Japan and want information about their trip, one of the best ways is to ask a *minpaku* owner for it.
- エ People who visit Japan need good luck, if they want to use *minpaku*.

受検番号

総合問題 I 【2枚目】

2 資料1は、火山学者の鎌田浩毅さんが読書の重要性について述べた文章です。資料2は、中学生のアキラ(Akira)さんと留学生のブラッド(Brad)さんとのAI(人工知能)についての会話です。資料1と資料2を読んで、後の1から7までの各問に答えなさい。

資料1

近年コンピュータが非常に発達し、社会を大きく変えつつある。その一例としてAI(人工知能)が、人間が行う多くの仕事をこなせるようになってきた。こうなると、われわれはAIにできないことを見つけ、①人間らしい行動をしたいと思うだろう。

本を読む目的の一つに、こうしたときに役立つ知識や考え方を得ることがある。言わば、読書によって、AIに振り回されない生き方を身につけるのである。AIができることはAIにさっさと渡す。AIに何ができ、何ができないかを峻別する能力を養うのも読書なのである。X AIを動かすのは人間の頭脳であり、その機能を支えるのが読書である。

たとえば、AIに不可能な職業に宗教家というのがあるが、人と直接会って回心をもたらすことは人にしかできない。聖書や『歎異抄』を読むことで人は感動し、人生を変えてきた。ここで宗教書や哲学書が果たしてきた役割は、テクノロジーがいかに発達しても変わらない。

すなわち、パターン化した情報のaソウサはAIが得意とするところだが、人生はパターン化できない偶然に満ちている。「想定外」に溢れた地球上で、同じように偶然に満ちた行為を行う生命の動きは、AIには扱えないのである。「そのとき、そのように」臨機応変に対応する力を養うもっとも簡便な方法は、読書において他にないと私は思うのである。

「何もないところからアウトプットはできない」というのは知的生産の原理である。さらに、アウトプットの質は、自分がこれまでに行ったインプットの量と質によって決まる。そしてインプットの基本は、第一に「文章を読む力」なのだ。

本は人間が知性を書き残したものであり、読書は昔も今ももっとも効率のよい勉強の手段である。いかなる目標でも、成果を得るには読書を避けて通ることはできないと言ってもbカゴンではない。若いときから読書の習慣を身につけておけば、後年、あらゆる情報を手に入れることができる。幅広いジャンルの書物を繙くことで、教養のc間口が広がるというメリットもある。

私も実際には、書店に行っても自分が見るコーナーは決まっていることが多い。けれどもY、今まで興味がなかったジャンルの本を見に行くのである。そうした経験から読書に対する世界dカンが広がる。

何を読むかという読書の傾向は、読み手の人間性に反映される。友人など他人の部屋にはじめて足を踏み入れたとき、緊張感を持って書架に視線を注いだ経験はないだ

ろうか。そこで目にした一冊が、彼もしくは彼女の人物像の印象を左右することも珍しくない。

(鎌田 浩毅 『理科系の読書術』による。)

(注) 峻別=きびしく区別すること 回心=心を入れかえること 『歎異抄』=親鸞の教えについて、弟子の一人が書き記した書物

資料2

Akira : Hi, what are you reading?

Brad : I am reading a science book. This book teaches us a lot of things about AI.

Akira : AI is a robot, right?

Brad : No, it isn't. AI is a computer program that can think and improve itself. AI is not a robot, but some robots have AI in them and some don't.

Akira : How are robots with AI different from robots ②[] AI?

Brad : Robots without AI only do the things they are programmed to do. Robots with AI can decide what they should do. For example, some cleaning robots with AI can find where in the room they should clean.

Akira : Do only robots have AI?

Brad : No. Now some electronic devices have AI in them. Some tablet PCs have it, too. After those tablet PCs learn what you like, they can find what you will like and give you a lot of information about it. Have you had any experiences like this?

Akira : Yes, I have. When I read sports news on my tablet PC, ③【 the / news / of / me / kind / shows / same / it 】. I can enjoy reading a lot of sports news and I think it helps me a lot.

Brad : That is true, but I don't think it is always a good thing. We should know what is happening in the world. Reading only sports news is not a good thing.

Akira : Eating only our favorite things is not good for our health. Right?

Brad : That's right. For our good health, ④[], too. AI can control our information, but I don't think that AI should decide everything that we should know. I have an idea for it. I think we should try to get information about many things. For example, if we read a newspaper, we should read different articles.

(注) robot(s) : ロボット program : コンピュータのプログラム
itself : それ自身 different from ~ : ~と異なる
be programmed to ~ : ~するようにプログラムされている
electronic device(s) : 電子機器 tablet PC(s) : タブレットコンピュータ
after ~ : ~した後で with ~ : ~を用いて
control : 管理する article(s) : 記事

受検番号

総合問題Ⅰ【3枚目】

1 資料1の下線部 a から d について、次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 下線部 a、b のカタカナを漢字に改めたとき、下線部と同じ漢字を含むものを次のアからエまでの中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|---|-------------------|---------------------------|
| a | ア 天地 <u>ソウ</u> ゾウ | イ 家宅 <u>ソウ</u> サク |
| | ウ エン <u>ソウ</u> 活動 | エ ジョウ <u>ソウ</u> 教育 |
| b | ア 途中ケイ <u>カ</u> | イ <u>カ</u> チョウ風月 |
| | ウ 千変バン <u>カ</u> | エ 急転 <u>チョ</u> ッ <u>カ</u> |

(2) 下線部 c、d の漢字はひらがなに直し、カタカナは漢字に改めなさい。

2 資料1の下線部①は、どのようなことをいうのか、第三段落以降の言葉を用いて30字以内で説明しなさい。

3 資料1の ・ に入れるのに最も適した語を次のアからカまでの中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| ア おおむね | イ しぶしぶ | ウ そもそも |
| エ とりあえず | オ あえて | カ つまり |

4 資料2の② [] に入る適切な英語1語を書きなさい。

5 資料2の③【 】内の語を、意味が通るように並べかえなさい。

6 本文の流れに合うように、資料2の④ [] に5語以上の英語を入れなさい。ただし、which という単語を必ず文中に用いることとする。

7 AIが発達したとき、幅広い読書が必要な理由を、資料1と資料2を関連させて日本語で説明しなさい。

受検番号

総合問題Ⅰ 【4枚目】

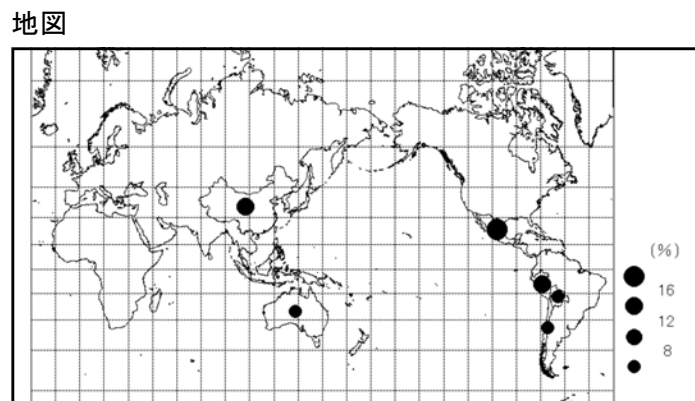
3 直子さんは、社会科の授業で貨幣について学び、「貨幣になぜ価値があるのか」という疑問をもって、次の資料1から資料7を集めました。後の1から6までの各問いに答えなさい。

資料1 貨幣に関する略年表

年代	できごと
708年	朝廷により①和同開珎が発行される
8世紀半ば	和同開珎の偽造が横行し、流通量が増加する
760年	朝廷により万年通宝 <small>まんねんつうほう</small> が発行される (以前に流通していた貨幣の10倍の価値を与える)
8世紀後半	貨幣の偽造が横行し、流通量が増加する
796年	朝廷により隆平永宝 <small>りゅうへいえいほう</small> が発行される (以前に流通していた貨幣の10倍の価値を与える)
12世紀～ 15世紀	②商業が発達し、定期市での貨幣の使用が広がる
16世紀	③石見銀山などで銀の産出が増加し、西日本で銀貨が使用・輸出される
1601年	慶長小判が発行される
1695年	④元禄小判が発行される
1897年	金本位制のもとで初めて日本銀行券が発行される

資料2 銀の産出国と産出量の割合を示した表と地図

銀の産出国	割合 (%)
メキシコ	18.7
中国	15.1
ペルー	14.1
オーストラリア	6.4
チリ	5.9
ボリビア	5.0
その他	34.8



●は世界の銀の産出量に占める各国の産出量の割合を示す。
(『世界国勢図会 2017/18』より作成)

資料3 小判に含まれる金の割合

小判	金の割合 (%)
慶長小判	86.8
元禄小判	57.4

(滝沢武雄『日本の貨幣の歴史』より作成)

資料4 元禄小判発行に関する資料

江戸時代の歴史書である『三王外記』には徳川綱吉のもとで幕府財政を担当した荻原重秀おぎわらしげひでが、元禄小判を発行したことに対し、「貨幣は国家が造るものであり、たとえ瓦礫がれきを代わりに用いても、当然行うべきである」ということを述べたと記されている。

(太宰春台『三王外記』より作成)

資料5 金本位制のもとで初めて発行された日本銀行券



※ 紙幣には、「この券は金貨10円と引き換えることができる」という内容が書かれている。

(日本銀行金融研究所貨幣博物館蔵)

資料6 日本銀行券の発行枚数と製造費(平成29年度)

- ・千円札・五千円札・一万円札の合計発行枚数… 3,000,000,000 枚
- ・銀行券製造費… 51,905,766,000 円

(日本銀行『平成30年度の銀行券発注高』および『第133回事業年度財務諸表』より引用)

資料7 金本位制のしくみ

金本位制とは、円やドルといったお金の価値を一定量の金と結びつけ、金と自国のお金との交換を保証する制度である。

(日本銀行金融研究所貨幣博物館『貨幣博物館 常設展示図録』より引用)

- 1 資料1の下線部①以前に日本で発行された貨幣を何というか、答えなさい。
- 2 8世紀における朝廷の貨幣政策の特徴と、その政策が実施された理由について、資料1から読み取れる内容を説明しなさい。
- 3 資料1の下線部②について、12世紀から15世紀にかけて銅銭が広く使われるようになった理由を、政治の動きに関連させながら説明しなさい。
- 4 次の文章は、直子さんが資料1の下線部③および資料2をもとに銀の産出地について考察した際のメモである。()に当てはまる語を答えなさい。
ただし、()には同じ語が入る。
銀の産出量の上位6カ国中、中国・オーストラリアを除く4カ国は()に含まれている。また、16世紀に銀の一大産出地であった日本も()に含まれることから、銀の産出と火山や地震の活動には関係がある可能性がある。
- 5 資料1の下線部④について、江戸幕府が元禄小判を発行した目的を、資料3を参考にして、説明しなさい。
- 6 資料5は明治時代に発行された日本銀行券とその説明である。資料4、資料6、資料7を参考にして、資料5の日本銀行券と現在の日本銀行券の違いを、紙幣にどのようにして価値がつけられているかという点から説明しなさい。